

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日：R6 年 11 月 7 日
研究課題名： 「入院がん患者の入院関連機能障害（Hospitalization-Associated Disability：HAD）の発生率と ADL 低下に関連する因子の検討」 研究期間： 倫理審査承認後～西暦 2029 年 3 月
研究対象： 癌治療を目的に入院となりリハビリテーションが処方された患者
対象材料 ☐ 病理材料（対象臓器名 ） ☐ 生検材料（対象臓器名 ） ☐ 血液材料 ☐ 遊離細胞 ☐ その他（ ） 上記材料の対象期間 西暦と
意義・目的： 化学療法および放射線治療中のがん患者に対して、運動療法を行うことで身体機能や QOL が改善することが報告されていますが、病勢に伴う症状や治療による有害事象により、ADL 能力の低下を生じる可能性があります。入院加療に伴う ADL 低下は入院関連機能障害（Hospital-acquired disability：以下 HAD）と呼ばれ、入院中の高齢患者の 20 から 40%に発症することや施設入所率や死亡率と関連することが報告されています。そのため、入院中のがんリハビリテーションにおいては、HAD を発症する可能性が高い症例を早期から抽出し、可能な限り早い段階から多面的なリハビリ介入を行う必要がありますが、HAD 発症を予測する方法については確立されていないのが現状です。 本研究では、当院へ癌治療を目的に入院となりリハビリテーションが処方された患者を対象とし、診療録の後方視的カルテ調査を行い、当院の HAD 発生率や ADL 低下に関連する因子を明らかにすることと目的とします。
方法： 診療録より基本情報（年齢・性別など）、医学的情報（病期・治療・症状など）、リハビリテーション情報（筋力・体力・ADL 状況など）を収集します。本研究の実施にあたり、データはすべて匿名化し個人が特定されないように十分に配慮します。研究終了後 5 年後にはデータはすべて破棄します。研究のため情報の使用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。研究対象とならないよう、対応いたします。この場合でも、患者さんに診療上の不利益が生じることはありませんので、ご安心ください。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院 診療技術部 リハビリテーション療法科 研究責任者：峯岸 忍 研究担当者：三浦 未里衣（代表番号 029-851-3511）